

令和4年度補正予算に係る審議を踏まえた

「意見・提言」

令和4年7月

京都府議会

令和4年度補正予算に係る審議を踏まえた「意見・提言」

【施策体系事項】

1 感染症対策の強化と医療・福祉基盤の充実

新型コロナウイルス感染症対策については、医療機関への支援・連携を行い医療提供体制を確保するとともに、自宅療養者への支援など府民の命を守る体制を強化すること。また、救急搬送体制の強化や感染症・周産期医療などに対応できる医療提供体制の充実、生活困窮者への相談体制の整備など、医療・福祉基盤の充実を一層進めること。

2 防災・減災、防犯対策の強化

府民の災害時における避難行動を促進するため、民間の防災情報アプリの開発を促進する災害情報のオープン化や広域避難体制の構築に取り組むこと。また、多様化するネットトラブルや、巧妙化するサイバー犯罪から府民を守るため、体験型学習の更なる充実を図るとともに、高齢者や中小企業などに対する支援・啓発に努めること。

3 子育て環境日本一・京都の実現

きょうと婚活応援センターの機能強化や男性育休を取得しやすい職場づくりの支援、子育て世帯への経済的負担軽減の積極的な推進など、子育て環境日本一の実現に向けた取組に努めること。また、府立学校における空調設備の更新などの環境整備に取り組むこと。

4 府民の暮らしを温める共生社会づくり

コロナ禍の長期化に加えて、原油価格、物価高騰など経済情勢の悪化により厳しい経営状況にある中小企業に寄り添った支援や、安定的な雇用の創出等に向けたDX人材の育成に取り組むとともに、企業・労働者双方のニーズに応じた雇用対策に努めること。

5 未来を拓く産業づくり

地域の特性を踏まえた産業創造リーディングゾーン（仮称）の構築に取り組むとともに、観光分野等におけるDX化の更なる推進・強化や、最新技術の活用による農林水産業、食関連産業の振興に努めること。また、燃料や肥料等の高騰に対する農家支援や府内産木材の需給体制の構築など農林業の対策に取り組むこと。

6 文化首都・京都の発信強化

「文化首都・京都」を国内外に発信するため、市町村や文化芸術団体、経済界等と連携した文化庁京都移転のより一層の機運醸成や、府民が継続的に文化芸術と触れあう機会の創出に努めること。また、恭仁宮の活用整備に向けた検討を進めること。

7 環境との共生

脱炭素社会の実現に向け、太陽光発電設備等の導入支援にあたっては、他の自治体や民間企業等と連携するとともに、制度設計を行った上で、再生可能エネルギーの導入・促進に取り組むこと。

8 魅力ある地域づくり

移住施策の推進については、市町村と連携し、地域の実情に応じた広報等の支援を行うこと。また、子どもたちがやりたいスポーツを楽しむことのできる環境づくりの具体化に向けた調査、検討を進めること。

新生・府立大学の実現に向けた教育研究体制の具体化について必要な支援に努めること。また、大阪・関西万博の出展については、京都の魅力を発信する効果的な取組を検討すること。

9 地域の成長・交流・暮らしを支える基盤整備

道路の整備や鉄道の維持・確保、駅周辺のにぎわいづくりなど、人々の生活になくってはならない交通基盤等の機能強化と支援に一層努めること。また、公共事業を支える建設業者の生産性の向上のため、ICTの普及促進に係る研修を実施するとともに、機器の整備に対し支援すること。